MITSUBISHI

0808874HG9901

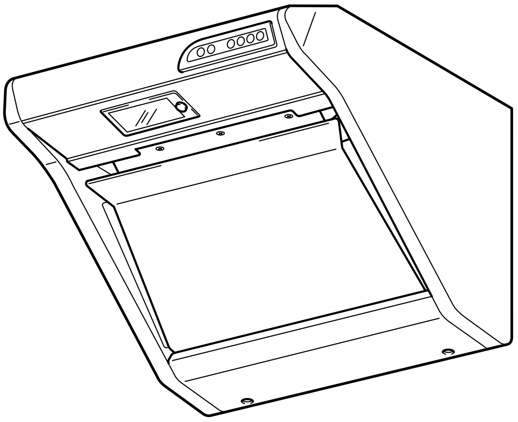
デルタキャッチ形レンジフードファン

ブラックタイプ
形　名
V-50RH2・V-507RH2・V-509RH2

シルバーメタリックタイプ
形　名
V-507RH2-S

取扱説明書

お客さま用



もくじ　ページ

安全のために必ず守ること…2
使用上のお願い……………3
各部のなまえ………………4
使いかた……………………4
お手入れ……………………5～7
修理を依頼する前に………8
アフターサービス…………8
仕　様………………………8

●お客さまご自身では取付けないでください。（安全や機能の確保ができません）

- ●ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ●添付別紙の「三菱電機　修理窓口・ご相談窓口のご案内」とともに大切に保管してください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

安全のために必ず守ること

⚠ 警告

誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	**ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しはしない** 爆発や引火のおそれがあります。 窓を開けて換気してください
水かけ禁止	**製品に水をかけたりしない** ショートや感電のおそれがあります。
分解禁止	**改造や工具を必要とする分解はしない** 火災・感電・けがの原因になります。
ぬれ手禁止	**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない** 感電・けがの原因になります。
指示に従う	**交流 100V を使用する** 直流や交流 200 V を使用すると火災・感電の原因になります。
指示に従う	**電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよくふく** 火災の原因になります。
プラグを抜く	**ランプを交換するときやお手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜くか、分電盤のブレーカを切る** 通電状態では感電やけがをすることがあります。

⚠ 注意

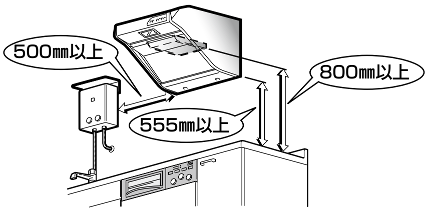
誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	**本体に異常な振動が発生した場合は使用しない** 本体・部品の落下によりけがをするおそれがあります。
接触禁止	**運転中は危険ですから、羽根の中に指や物を入れない** けがのおそれがあります。
プラグを抜く	**長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、分電盤のブレーカを切る** 絶縁劣化による感電や漏電・火災の原因になります。
指示に従う	**お手入れの際は手袋を着用する** 着用しないと金属などの端面でけがをすることがあります。
指示に従う	**お手入れ後の部品の取付けは確実に行う** 落下によりけがをするおそれがあります。
指示に従う	**電源プラグを抜くときには、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く** 感電やショートして発火することがあります。
指示に従う	**指定のランプを使用する** 間違ったランプを使用するとランプ周辺が高温になり、やけどをするおそれがあります。

使用上のお願い

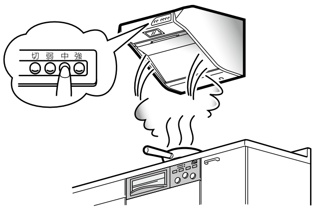
室内周囲温度は40℃以下で使用する。
また、下図の寸法になっているか確認する

- 本体の下端からガスレンジまたは、IHクッキングヒーターまでは555㎜以上必要です。
  （火災予防条例では、フィルター下面から加熱面まで800㎜以上必要です。）



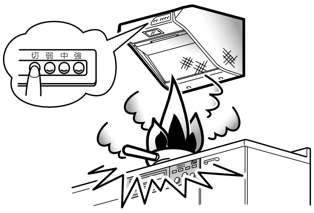
（モータ故障や排気ガスによる塗装面のサビ発生の原因になります。）

ガスレンジを使用するときは、必ずレンジフードファンを運転する



（レンジフードファンを運転しないと、本体内の温度が高くなり故障の原因になります。）

料理中、誤ってフライパンなどの油に火がついたときは、ふたをするなどして火を消す。同時にレンジフードファンの運転を停止する



（レンジフードファンを運転していると火の勢いがさらに強くなります。）

台所全体の換気には他の換気扇を併用する

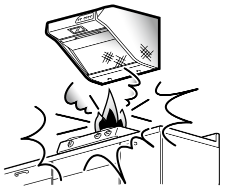
- レンジフードファンは局所換気用です。

風の影響を受けやすいため、近くの窓を閉めて使用する

（油煙等の捕集効果がよくなります。）

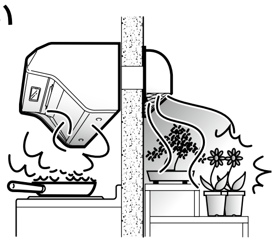
ガスレンジを空だき状態で長時間使用しない
フランベを行わない

（フランベとは、料理にアルコールをふりかけ火をつけること。）



（故障の原因になります。）

屋外排気口下側には油煙がかかる場合があるので、物を置かない



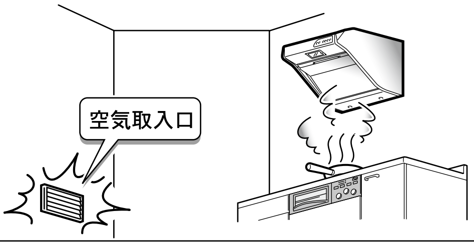
（植木が枯れたり、物が汚れる原因になります。）

製品に酸・アルカリ・有機溶剤などの薬品がかからないか確認する

（サビ発生の原因になります。）

レンジフードファンを運転中は給気を行ってください

レンジフードファンの反対側の壁に空気取入口を設けるか、部屋の扉（窓）を少しあけてください。
密閉された建物では、汚れた空気を排出するためには新鮮な空気の入るところ（空気取入口）が必要です。



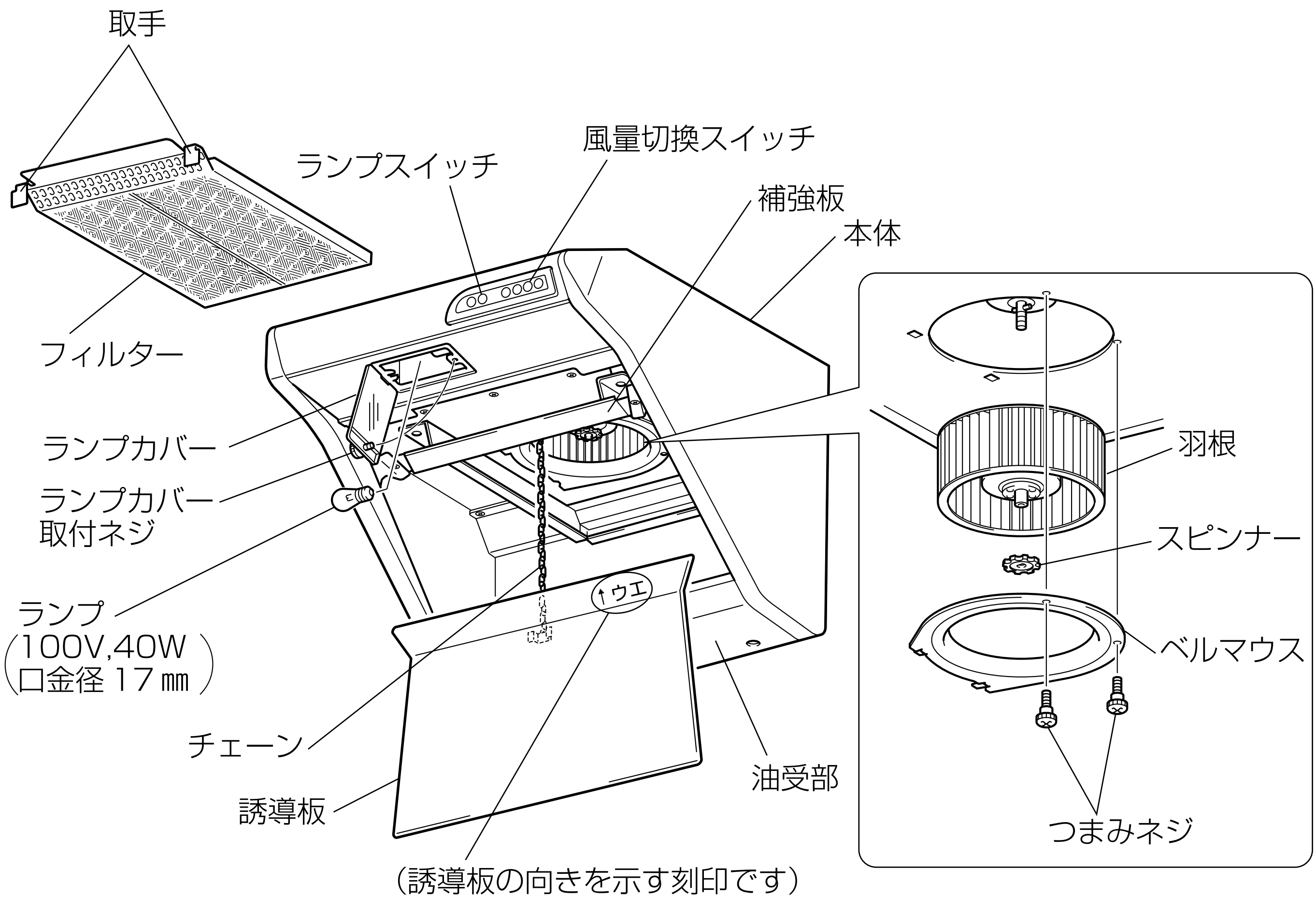
フィルターの間または表面に市販の繊維フィルター等を取付けない

（火災予防条例上使用が制限されたり、風量低下の原因になります。）

調理中や調理直後は本体にふれない

（本体が高温になりやけどの原因になります。）

各部のなまえ



使いかた

■風量切換スイッチとランプスイッチで操作します。

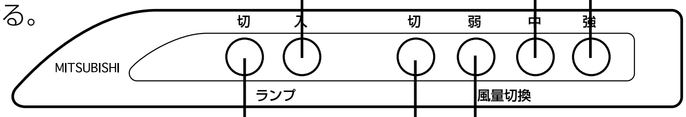
調理中に手元が暗い場合

ランプスイッチの
「入」を押し
ランプを点灯させる。

調理をする場合

風量切換スイッチの
「強」・「中」のいずれかの
スイッチを押す。
風量の目安として……

「強」…………煙が多く出るものを調理するとき
「中」…………煙が少ないものを調理するとき



ランプを消灯する場合

ランプスイッチの
「切」を押し
ランプを消灯させる。

キッチンの換気をする場合

風量切換スイッチの
「弱」を押す。

「弱」…………調理時以外でキッチンの換気をするとき

運転を停止する場合

風量切換スイッチの
「切」を押す。

メモ

- 「弱」運転は風量を少くするため、羽根は低速回転で運転音も小さいですが、異常ではありません。
- 人の動きや空調機など気流の乱れに影響を受け、煙が漏れる場合があります。
- 本レンジフードファンは、外風や室内圧の影響により、シャッターの閉止音が大きくなる場合がありますが、異常ではありません。

お手入れ

レンジフードファンが汚れてきたら、下記の方法でお手入れしてください。
本説明書以外の清掃方法については、販売店にご相談ください。

⚠警告

- **お手入れの際は、電源プラグを抜くか分電盤のブレーカを切る**
（感電やけがをすることがあります。）

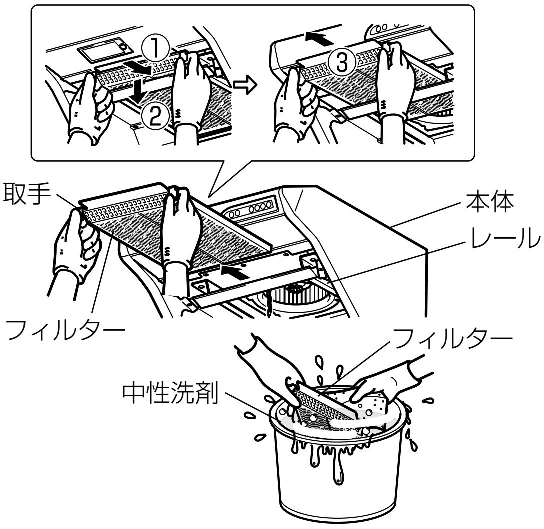
⚠注意

- **お手入れの際は手袋を着用する**
（金属等の端面でけがをすることがあります。）

お願い

- 調理直後は清掃しない。（本体が高温になり、やけどをするおそれがあります）
- 清掃時は、加熱器周辺の鍋や調理物をかたづける。（やけどやけがをするおそれがあります）
- 照明ランプ点灯中や消灯直後は清掃しない。（ランプ周辺が高温になり、やけどをするおそれがあります）

フィルターと油受けと羽根の清掃



フィルターの清掃（1か月に1度以上）

1 フィルターの左右の取手をつまみ（①）、押し下げて（②）、手前へ引き抜く（③）。

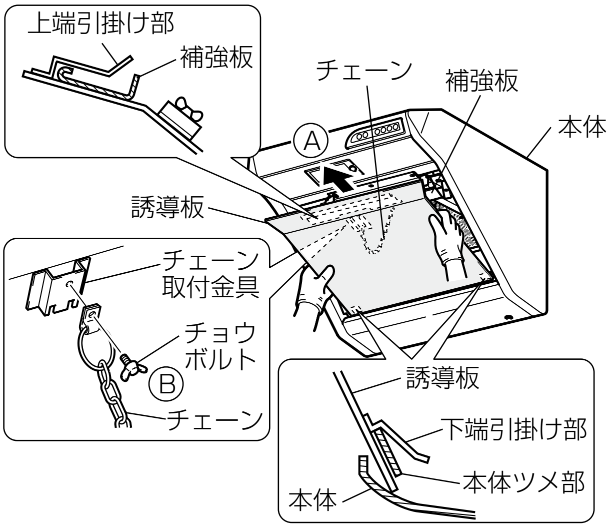
2 フィルターは中性洗剤を溶かしたぬるま湯（40℃以下）に浸して、スポンジなどで軽くこすって汚れを落とす。（フィルターは目にそってこすってください）

3 フィルターは汚れを落とした後、きれいな水で洗いよく乾かす。

お願い

- フィルターは変形しやすいものです。取扱いには十分注意してください。
- 金属タワシや硬いスポンジは使用しないでください。（塗装がはがれる原因になります）

4 フィルターをレールに合わせて奥まで差し込み、押し上げ、元に戻す。

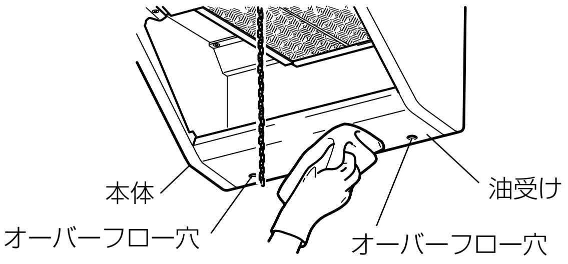


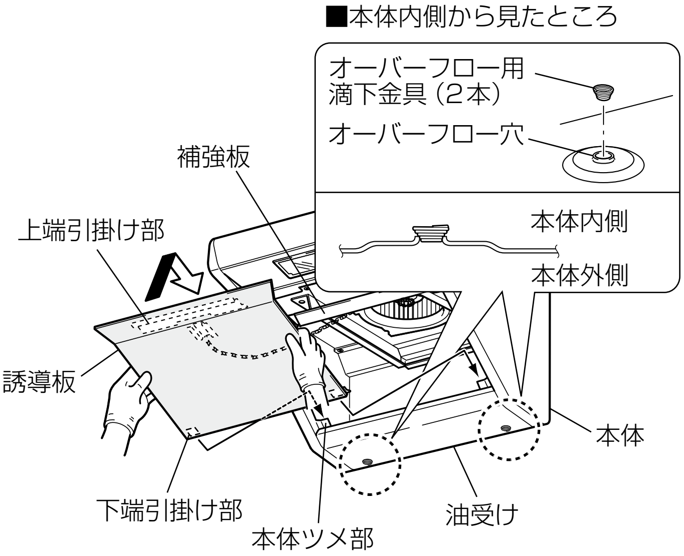
油受けの清掃（1 か月に 1 度以上）

1 誘導板の左右の端を持ち、斜め上方へ引き抜く（Ⓐ）。

2 誘導板の裏面にあるチェーン取付金具のチョウボルトをゆるめ、チェーンを取りはずす（Ⓑ）。

3 油受けの内側および外側を中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないよう乾いた布でよくふき取る。





4 オーバーフロー穴に差してあるオーバーフロー用滴下金具（2本）を本体内側より抜き取り清掃する。

お願い

- 清掃後はオーバーフロー用滴下金具を元の位置に取付けてください。

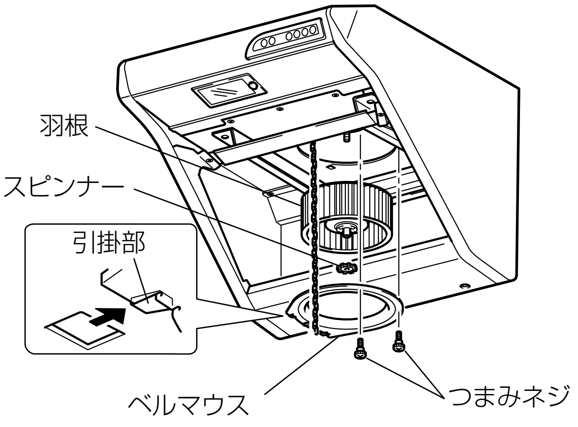
5 チェーンを誘導板のチェーン取付金具にチョウボルトにて締め付ける。

6 誘導板の左右の端を持ち、誘導板の下端引掛け部を本体ツメ部にはめ込み、誘導板の上端引掛け部を補強板にはめ込む。

7 誘導板を前後に押してはずれないことを確認する。

お願い

- IHクッキングヒーターとの組み合わせにて使用した場合、室温が低いと本体内で結露が発生し、油受けに溜まるので、拭き取ってください。
- オーバーフロー穴より、油や水がしみ出てきたら油受けが満水です。ただちに誘導板をはずしキッチンペーパーなどにて清掃してください。



羽根の清掃（半年に1度以上）

1 誘導板とフィルターをはずす。
（詳細は、P6 参照）

2 ベルマウスのつまみネジをはずす。
（詳細は、P4 参照）

3 ベルマウスを右へ動かして引掛部をはずして取る。

4 羽根を押さえながらスピンナーを右へ回し、ゆるめる。

5 羽根をはずす。

6 羽根は中性洗剤を溶かしたぬるま湯（40℃以下）に浸してスポンジなどで軽くこすって汚れを落とし、きれいな水で洗いよく乾かす。

お願い

- **羽根の取扱いには十分注意してください。変形すると異常音発生の原因となります**

7 取りはずしと逆の手順で各部品を取付ける。
羽根をしっかり奥まで押し込んでスピンナーを締め付けてください。

お願い

- **羽根は確実に取付けてください。**
  ゆるむと異常音や部品破損の原因になります。

本体外装のお手入れ

本体の清掃は中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないよう乾いた布でよくふき取る。

⚠警告

- **工具を必要とする部品の取りはずし、清掃は行わない**
  工具を必要とする部品例：モータ、その他電気部品
  （火災・感電・けがの原因になります）
- **誘導板の清掃は、必ず本体から取りはずして行う**
  （落下によりけがをすることがあります）

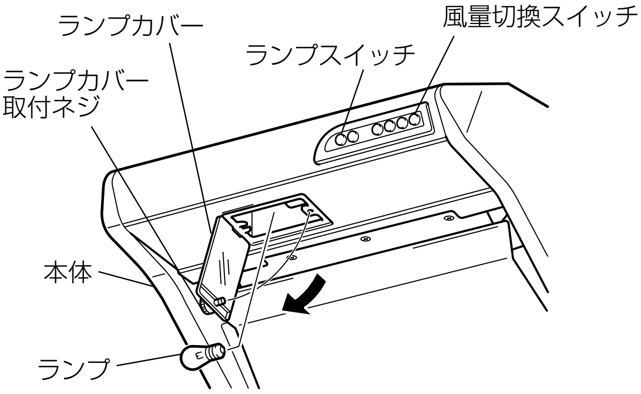
お願い

- **お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しない。**
  シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザー等の研磨剤入りの洗剤。
  （変質したり、塗装がはがれる原因になります）

ランプの交換

⚠警告

- **ランプを交換するときは、電源プラグを抜くか分電盤のブレーカを切る**
  （感電することがあります）



⚠注意

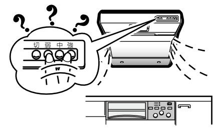
- **指定のランプを使用する**
  （ランプ周辺が高温になり、やけどをするおそれがあります）

1. ランプカバー取付ネジをゆるめ、ランプカバーを開ける。
2. ランプを取出し、市販のランプ（小形白熱電球 100V、40W 口金径 17 ㎜）をお求めのうえ交換する。
3. 取付けは取りはずしと逆の順序で行う。
4. 電源を入れ、ランプスイッチ「入」を押して点灯を確認する。

修理を依頼する前に

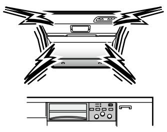
このような症状があれば点検してください。

スイッチを入れても羽根が回転しない



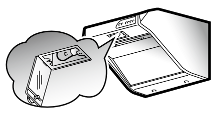
ブレーカが切れていませんか？
停電ではありませんか？
プラグがコンセントに接続されていますか？

運転中に異常音や振動がある



取付ネジがゆるんでいませんか？
本体にフィルター・誘導板が確実に取付けられていますか？

ランプを「入」にしても点灯しない



ランプが切れていませんか？

点検・
処置をしても
直らない
ときは

電源を切って必ず販売店に点検・修理をご依頼ください。

費用については販売店とご相談ください。

アフターサービス

アフターサービスは、お買上げの販売店かお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」（別紙）にご相談ください。
長年ご使用いただくためには、換気扇のメンテナンスが必要です。モーターは消耗部品です。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この換気扇の補修用性能部品を製造打切り後６年保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

仕　様

形名	電圧(V)	Hz	ノッチ	消費電力（W）			風量（m^3/h）			騒音（dB）			質量（kg）
				右上排気	左上排気	後排気	右上排気	左上排気	後排気	右上排気	左上排気	後排気	
V-50RH2	100	50	強	120	110	110	600	530	570	47.5	48	49.5	20.5
			中	85	80	80	420	400	410	40	40.5	43	
			弱	23	23	23	130	120	130	25	25	25	
		60	強	140	135	135	570	530	550	46.5	48	49	
			中	90	90	85	400	370	380	38	40	40	
			弱	23	23	23	130	120	130	25	25	25	
V-507RH2 V-507RH2-S	100	50	強	120	110	120	600	530	590	47.5	48	49.5	22.5
			中	85	80	85	420	400	430	40	40.5	43	
			弱	23	23	23	130	120	150	25	25	25	
		60	強	140	135	140	570	530	550	46.5	48	49	
			中	90	90	90	400	370	390	38	40	40	
			弱	23	23	23	130	120	150	25	25	25	
V-509RH2	100	50	強	120	110	120	600	530	590	47.5	48	49.5	24.5
			中	85	80	85	420	400	430	40	40.5	43	
			弱	23	23	23	130	120	150	25	25	25	
		60	強	140	135	140	570	530	550	46.5	48	49	
			中	90	90	90	400	370	390	38	40	40	
			弱	23	23	23	130	120	150	25	25	25	

※特性はJIS C 9603に基づく

愛情点検

☆ 長年ご使用の換気扇の点検を！

ご使用の際このようなことはありませんか。

- ●スイッチを入れても羽根が回転しない。
- ●運転中に異常音や振動がする。
- ●回転が遅い（弱運転は除く）または不規則。
  ※モータはメンテナンスが必要な部品です。
- ●こげ臭いにおいがする。

使用中止

故障や事故防止のため、電源を切って必ず販売店にご連絡ください。
点検、修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客さまメモ

サービスを依頼されるとき便利です。

形　　名	
お買上げ年月日	年　　月　　日
お買上げ店名	
（住　所）	
（電話番号）	(　　　)　　－

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508－8666 岐阜県中津川市駒場町１番３号　電話 0573－66－2111

この説明書は、再生紙を使用しています。